

永久アンカー工法を解説
VSL協会、大阪市で
技術講習会開く



VSL協会(田中茂義会
長)は17日、大阪市内で技
術講習会を開いた。写真。

会員企業や建設コンサルタ
ント会社などから約40人が
参加し、VSL永久アンカ
ー工法の特徴や施工手順、
適用例などを説明した。

冒頭あいさつした山村徹
理事は「VSL工法はスイ
スのロージンガー社から技
術導入され、国内では高速
道路や建築工事などで多数
の実績がある。アンカー工
法も鉄道の土留めなどに採
用されてきた。講習でVSL
永久アンカーの特徴など
を理解してほしい」と述べ
た。

同協会アンカー部会の森
脇光洋技術委員がVSL永
久アンカー工法について説
明し、「アンカー体長は長
くなるが、削孔径は135
mmから90mmに小さくなるた
め、全体の工事費は従来型
の90%程度になる。付着に
優れ、くさびのかみ込みも
いい」などと工法の特徴を
解説した。

神戸大学大学院工学研究
科の芥川真一教授が「情報
を現場で見える化するOn
-Site Visualizationとその
の展望」と題して講演。会
場には新たに開発した「高
性能維持管理アンカーシス
テム」の実物を展示した。
VSL工法は、注入パイ
プ1本で内外のグラウトを
行えるのが特徴。削孔径が
細径化され、高い耐久性と
コスト縮減が可能となる。

